

平成21年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮記念杯 第60回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会
第54回全国高等学校自転車道路競走中央大会

監督会議資料

2009近畿まほろば総体



君が今歴史の
新たなページを創る

奈良県実行委員会

平成21年度全国高等学校総合体育大会自転車競技 大会特別規則

競技運営委員長 坂井田米治
総務委員長 今井喜代治
審判長 榎 正人

トラック・レース、ロード・レース共通事項

2009年(財)日本自転車競技連盟規則、および大会特別規則で実施する。なお、競技規則解説を監督および競技者は熟読しておく。(高体連ホームページ <http://www.hs-cycling.com/>)

(1) ライセンスコントロール

- ・ 日 時 7月31日(金)11:50~12:50
- ・ 場 所 奈良県営競輪場 飛天交流館2F 選手・監督受付
- ・ ライセンスの返却は、開会式終了後受付場所にて行う。ライセンスは配布されたIDカードの裏側に入れ、トラック、ロード会場で携帯する。

(2) 記録の配信

- ・ 連絡事項、スタートリスト、リザルト等のコミュニケは、多目的ホール南側付近競技結果速報板に掲示する。必要なりザルトは、西売店内「記録速報配布所」で無料配布するが、資源保護、予算の関係から必要な枚数でお願いします。
- ・ リザルトは、大会ホームページに即時掲載する。アドレス等詳細は、コミュニケにて連絡する。

(3) ヘルメット

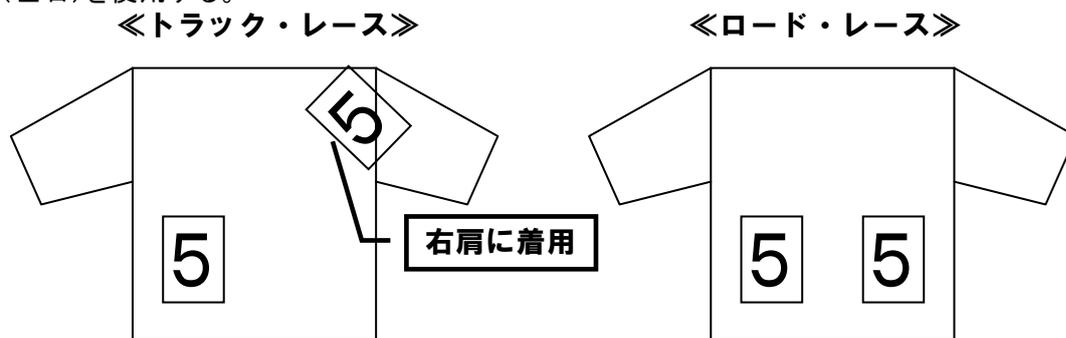
- ・ JCF公認シールが貼付されているものを練習時も含め使用する。シールが貼付されていないもの、劣化、破損が確認されるもの等は使用を認めない。なお、タイム・トライアル用(エアロ・ヘルメット)の公認ヘルメットは、1kmTT、3kmIP、チーム・パーシュート、チーム・スプリントの競技時のみに限定し使用を認める。また、競輪用ヘルメットの使用を認める。

(4) 使用フレーム

- ・ 国際自転車競技連合(UCI)の規定に適合していないフレームを使用しなければならない場合は、ライセンスコントロール時に所定の用紙にて学校単位で提出する。なお、ブリヂストン製PCPT=TTタイプについては使用を認めるので、申請を行わなくてよい。
- ・ 最大限の努力をした上で、身体形態上の理由により、規定にあわない自転車を使用する競技者は、ライセンスコントロール時に所定の用紙にて学校単位で提出する。

(5) ナンバーカード(IDナンバー)

- ・ ボディ・ナンバーを2枚つける場合は下図のように取り付ける。1枚の場合は腰部中央に取り付ける。
- ・ ロード・レースは、①ボディ・ナンバー②フレーム・プレート(フレーム左側)③ヘルメット・ナンバーシール(左右)を使用する。



(白地に黒)

(白地に黒)

トラック・レース

(1) 禁止事項

走路保護のため、アップオイル等を体に塗ることを禁止する。

(2) 走路入退場方法

選手・監督の競技場の入場は「バック側地下道入口」から「ホーム側地下道出口」とし、退場は「3コーナー付近地下道入口」から「バック側地下道出口」とする。

なお、敢闘門は緊急時以外、通行できないので注意する。

(3) セルフ検車

招集・検車場(バック側地下道入口付近)の手前にセルフ検車のブースを設け、検車台を設置する。各自検車スケールを当て、調整することができる。なお、メカニックサービスの調整を受けることができる。

(4) 招集

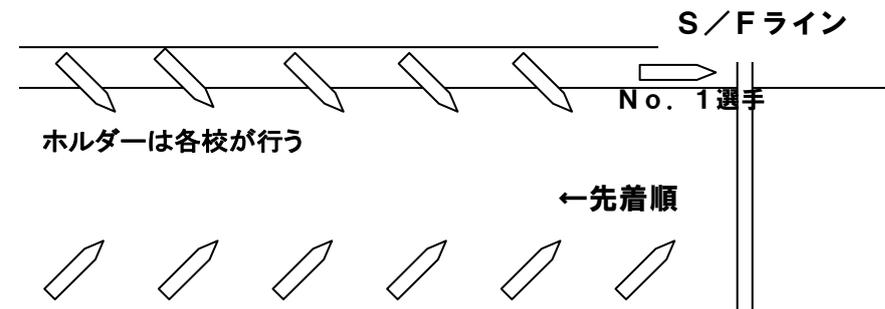
- ・ 招集所はバック側地下道入口付近に設置し、装備の確認と自転車の検査も実施する。招集は、各自の出走予定時刻の15分前までに完了し、招集完了後は速やかにバンク内に入場する。
- ・ チーム・パーシュートおよびチーム・スプリントは出走予定時刻の1時間前までに、招集所に出走メンバーの申請をする。

(5) ヘルメット・カバー

4km速度競走、スクラッチ、ポイント・レース、ケイリンの種目にヘルメット・カバーを使用する。

(6) スタート

- ・ 1kmTT、3kmIP、チーム・パーシュートの最も内側の選手、チーム・スプリントの第一走者はスターティング・マシンを使用する。
- ・ スプリント予選、4km速度競走、ケイリン、チーム・パーシュート、チーム・スプリントのスタートについてのホルダーは競技役員が行う。
- ・ スプリント1回戦以降のホルダーは、各チーム・スタッフが行う。
- ・ ポイント・レース及びスクラッチのスタートは、スタートリストにより、イン・レーンスタート、アウト・レーンスタートの選手を参加競技者の約半数を指定する。完全に乗車し、各チームのホルダーに支えられた状態で準備し、スタート時のホルダーも各チーム・スタッフが行う。発送員の指示後、各選手はそれぞれの指定されたレーンに先着順でスタート位置に着く。ただし、ヘルメット・カバーNo. 1の選手はイン・レーンの先頭からスタートする。1週の競技外周回の後、正式スタートする。



(7) ペーサーの離脱

ケイリンの周回は、6周回とし残り2周回のホームストレッチ付近でペーサーは離脱する。なお、離脱時の速度は50km/hとする。

(8) 勝ち上がり方法

① スプリント

予選は18名を勝ち上がりとして選出する。2周回で競技する。競技順は1回戦、1回戦敗者復活戦、1/8決勝、1/8決勝敗者復活戦、1/4決勝(以後5-8位決定戦以外3回戦)、1/2決勝、順位決定戦とする。

② 4km速度競走

各組予選(組数6)より各組上位5名を選出し、準決勝(3組)を行う。準決勝各組上位4名で決勝戦(12名)を行う。

③ ポイント・レース

各組予選(組数3)より各組上位8名を選出し、決勝戦(24名)を行う。

④ ケイリン

1回戦(組数8)より各組上位2名を2回戦に選出する。1回戦敗者により敗者復活戦(組数6)を行い、各組上位2名を選出する。2回戦(組数4)より各組上位2名を選出し、決勝戦(8名)を行う。

⑤ スクラッチ

予選(組数4)より各組上位5名を選出し、決勝戦(20名)を行う。

(9) 種目別表彰

トラック・レースの表彰は、多目的ホール表彰ステージにおいて実施する。対象競技者は指定された時間の15分前までに登録してあるジャージ着用で多目的ホール入賞選手控所に集合する。

(10) ギア比チェック

ギア比チェック対象者は、上位入賞者およびランダムに選出する。競技終了後のギア比チェックは、バンク内3コーナー地下道入口付近「ギア比チェック所」で行うため、対象者は速やかにチェックを受ける。

(11) パーシュート種目、タイム・トライアル種目の指示場所

1コーナーと3コーナーに設けられた枠内とする。

個人ロード・レース

(1) 招集・検車

- ・ 日時・場所 8月4日(火) 6:15 ~ 7:10 鈴鹿サーキットNo1・2ピット
- ・ 招集所で装備の確認と自転車の検査・チップ検査を受け、サイン・シートに記入する。

(2) スタート時刻 7:30 (集合は、15分前)

(3) スタート位置

前年度入賞者及び選抜大会入賞者は前列にシードする。その後ろに地元競技者を配置する。その他は集合順とする。

シード選手は以下の10名とする。

黒枝 士揮	日出暘谷高(大分)	大中 巧基	北桑田高(京都)
西沢 倭義	北桑田高(京都)	新井 翔太	川越工高(埼玉)
元砂 勇雪	榛生昇陽高(奈良)	中里 仁	小松原高(埼玉)
和田 力	和歌山北高(和歌山)	木下 智裕	関東六浦高(神奈川)
末永 周平	東北高(宮城)	六峰 亘	日出暘谷高(大分)

(4) 山岳賞・スプリント賞

- ・ 山岳賞、スプリント賞の時期について、表の通り設ける。
- ・ 山岳賞はスプーンカーブ付近、スプリント賞はスタートフィニッシュ地点で判定する。

(5) 補給所

① チーム補給所

- ・ 補給所はシケインカーブの手前、右側のみ認める。補給エリアは看板により明示する。
- ・ スペースの関係で各校、出場選手数の補給員を認める。補給員は補給員IDホルダーに入れること。
- ・ 補給は、6周回目より、16周回目までの間に行う。
- ・ 補給員の補給所への移動(コースの横断)は7:10~7:35のみに行う。

② オフィシャル補給所 は設置しない。

周回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	ゴール
周回板表示	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	G
スプリント賞 ○印				B	○						B	○							
山岳賞 △印								B△							B△				
B=ブザー (SF地点にて)																			
補給可否			×								○								×

(6) 関門所での打切り

- ・ ホームストレッチのピット入り口付近に関門所を設置する。8位選手を含む集団が通過した時点から5分を制限時間とし、遅れた競技者を失格とする。失格となった競技者はボディ・ナンバー、計測チップを外し、関門審判員に渡す。各ブロックピットにはピットロードを通ること。
なお、最終周回は打切りを行わない。

(7) 機材サポートとインフォメーション

- ・ ニュートラル・カー3台、ニュートラル・バイク2台を用意する。(提供機材は、シマノ社製 10 段)
- ・ インフォメーション・バイクを準備する。
- ・ チーム機材補給可能箇所はホームストレッチのコース右側とダンロップゲートのみとする。
ホームストレッチのコース右側への横断は7:10~7:35のみに行う。
- ・ ホームストレッチのピットロード内での機材補給は、リタイヤ管理とチップ動作の関係から厳禁する。

(8) 順位決定・計時

- ・ 計測チップを使用し、順位決定はVTR、計時は自動計測システムを参考にする。

(9) ギア比チェック

- ・ ゴール後、競技役員の誘導に従いピットロードを通り、各ブロックピットへ戻ること。
- ・ ピットロードにて上位20位程度行う。

(10) 計測チップの配布および返却

- ・ 計測チップは、下記日程で、ロード用ボディ・ナンバー、プレート、補給員用 ID 等とともに配布する。

配布日時 : 8月3日(月)15:00~18:00

場所 : 鈴鹿サーキット No44ピット

返却日時 : 8月4日(火)競技終了後

返却場所 : 鈴鹿サーキット ピットロード

備考 : 計測チップを紛失したり故意に破損した場合は実費請求する。

(11) 選手変更届

- ・ 選手変更届のある場合には、下記日程で受付する。

受付日時 : 8月3日(月)15:00~18:00

場所 : 鈴鹿サーキット No44ピット

(12) 表彰式・閉会式

- ・ 開始予定時刻 10:30
- ・ 会場 鈴鹿サーキット ホスピタリティーラウンジ(ピット2F No11)
- ・ 表彰式・閉会式への保護者の参加は妨げない。

(13) その他

- ・ 鈴鹿サーキット国際レーシングコースへの入場は、モータースポーツゲート(No9ゲート)を通ること。その際、車両は駐車券、歩行者・自転車での入場者はIDを競技役員・係員に提示すること。
- ・ 参加校の車両については、Aパドック並びに各ブロックのピット南側に駐車すること。ただしピット南側については、台数に限りがある。
- ・ 保護者並びに一般観戦者などIDカードを所有しない者の観戦はピット3Fの所定場所に限定する。観戦者は役員・係員の指示に従い、No20ピット横の階段から所定された観戦場所に移動する。各校より保護者へ事前に周知徹底すること。
- ・ チーム補給所ならびに機材補給所は、日陰の一切ないところなので、関係者は各自熱中症対策を行うこと。

